

マーケットイン輸出ビジネス拡大支援事業のうち  
**品目団体輸出力強化支援事業**

【令和4年度予算概算決定額 907（-）百万円】  
 （令和3年度補正予算額 4,100百万円）

＜対策のポイント＞

品目団体が輸出重点品目についてオールジャパンで行う海外販路開拓・市場調査等の輸出力強化に向けた取組を支援します。

＜事業目標＞

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

＜事業の内容＞

輸出重点品目（牛肉、コメ、りんご、ぶどう、茶、かんしょ、製材、ぶり、ホタテ貝等）について、品目団体※が自ら作成した輸出拡大計画に沿って行う、業界関係者全体の輸出力の強化につながる取組を、以下のメニューにより支援します。

※ 生産から販売まで輸出に関する業界の関係者を広く含み、オールジャパンで輸出拡大に取り組む全国団体

＜支援メニュー＞

- ① 輸出ターゲット国の市場調査・規制調査
- ② 海外におけるジャパンブランドの確立
- ③ 業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等
- ④ 海外における販路開拓活動
- ⑤ 輸出促進のための規格の策定・普及
- ⑥ 国内事業者の水平連携に向けた体制整備
- ⑦ 輸出手続きや商談等の専門家による支援
- ⑧ 新規輸出国開拓に向けた調査及び輸送試験

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

①-例	・ターゲット市場における木材製品の市場動向やニーズ、高耐久木材や木質建材などの製品規格・流通規制に関する調査 ・食肉加工品について、輸出先国ごとの添加物使用、成分表示等の規則の調査
②-例	・日本産米の差別化に向けた他国産米との比較調査及びPR活動 ・輸出先国において、日本産青果物の産地情報をタグ付きマークにより確認できるシステムの導入
③-例	・多言語対応食肉ラベルシステムの開発 ・かんしょの輸送時の腐敗防止技術の実証・普及 ・輸出先国の製品安全規格を満たす焼き芋機の導入実証
④-例	・ブローカー設置、バイヤー向けセミナーの開催、品目専門見本市への出展、海外バイヤーの招聘等
⑤-例	・輸送資材や温度管理等、相手国ニーズへの対応（品質保持等）に必要な規格やマニュアル等の策定に向けた検討 ・策定した規格やマニュアル等の普及に向けた研修の実施や実装に必要な認証取得等への支援
⑥-例	・リレー出荷や大ロット確保に向けた、出荷時期・量・有機対応等の産地データベースの構築等
⑦-例	・青果物輸出促進コーディネーターを設置し、産地の課題に対応可能な専門家と産地のマッチングによる課題解決を支援
⑧-例	・鮮度保持や輸出規則対応の確認のための輸送実証



【お問い合わせ先】 輸出・国際局輸出企画課（03-6744-1779）